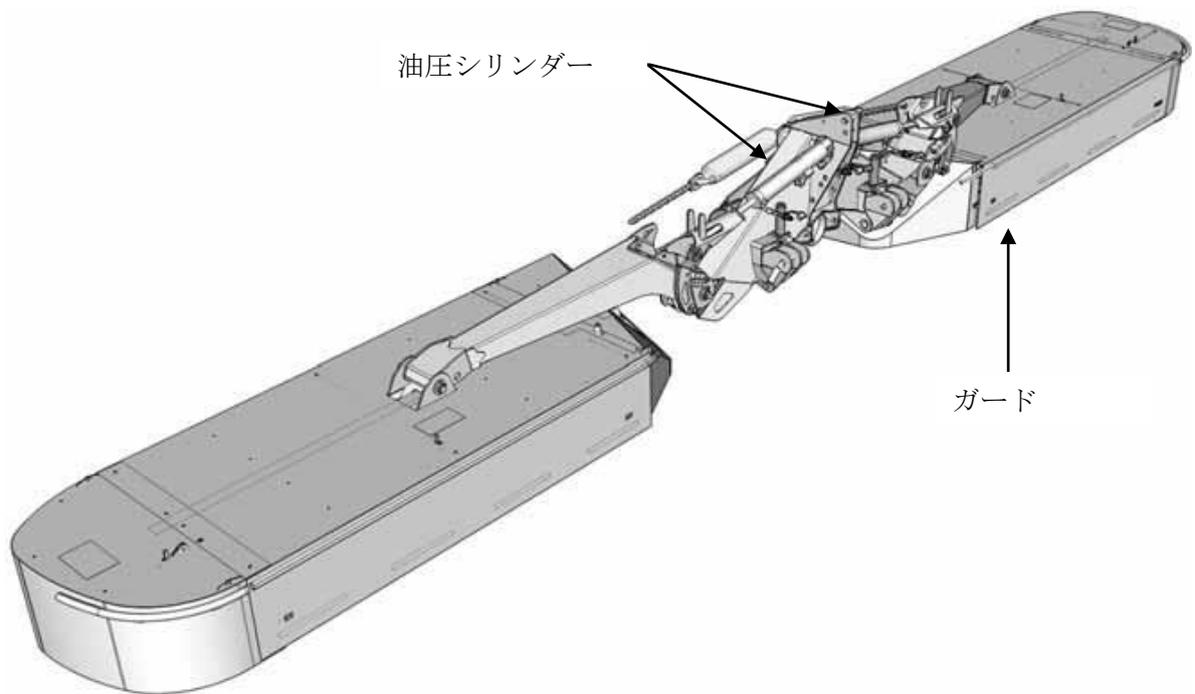
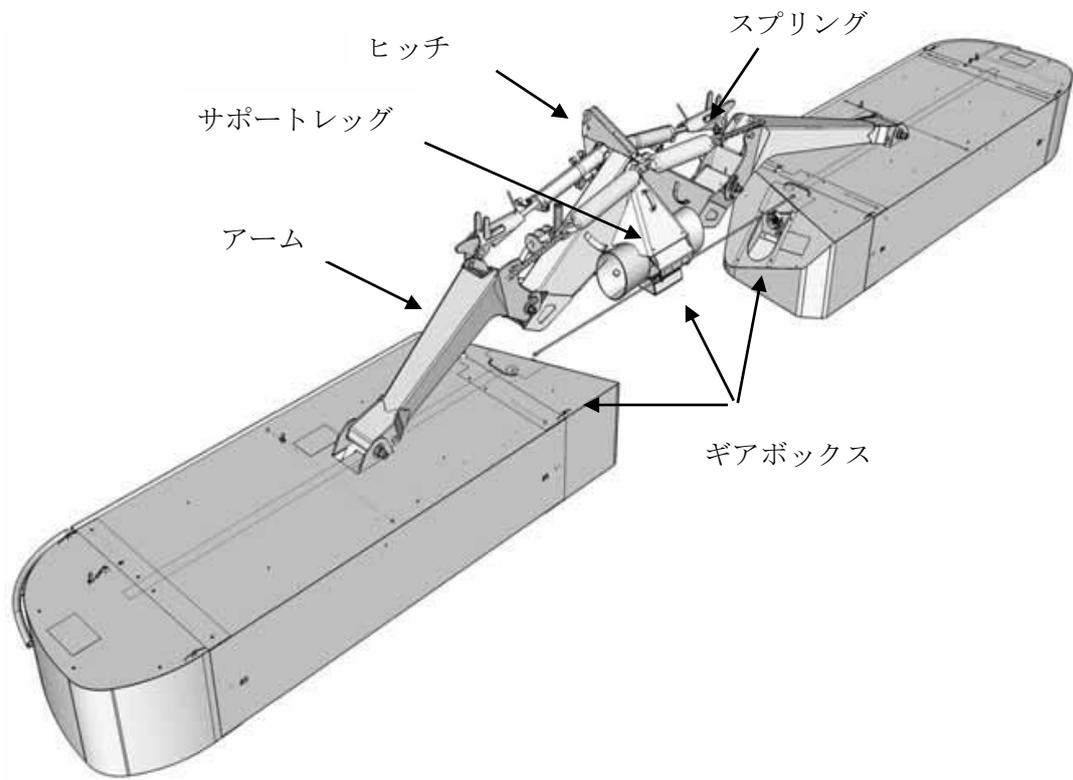


EXTR Δ 390

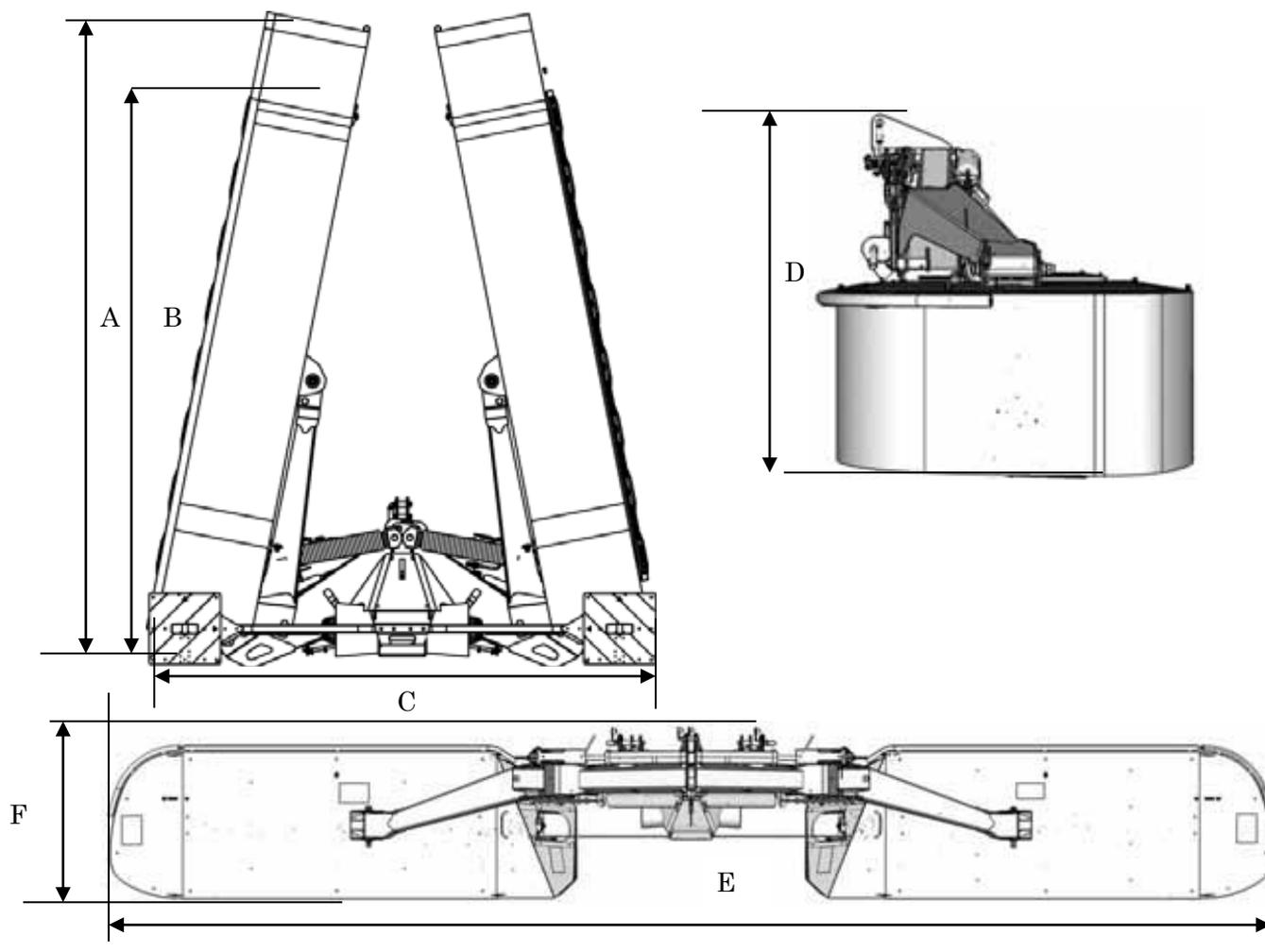
取扱説明書

概要



技術情報

機械の大きさ



大きさ	単位	EX390
A	mm	3780
B	mm	3380
C	mm	2920
D	mm	1490
E	mm	9500/9240*
F	mm	1310

*詳細設定

→ »刈り幅の変更« p 24

作業機について

	単位	EX390
総重量	kg	1520
PTO 回転	rpm	1000
馬力	Kw/HK	81/110①
ディスクの枚数	枚	16
ナイフの枚数	枚	48
ディスクの回転数	rpm	3000
刈り高さ	mm	20~100②
油圧 最大/最小	bar	150~200
刈り幅	m	8.5~8.8③
騒音	dB	85
推奨刈り速度	Km/h	6~15
輸送幅	mm	2920

① 前のユニットを除く.

② ハイスキッド

→ »刈り高さ« p 37

→ »オプション« p 95

③ 詳細設定.

→ »刈り幅の変更« p 24

トラクターの条件

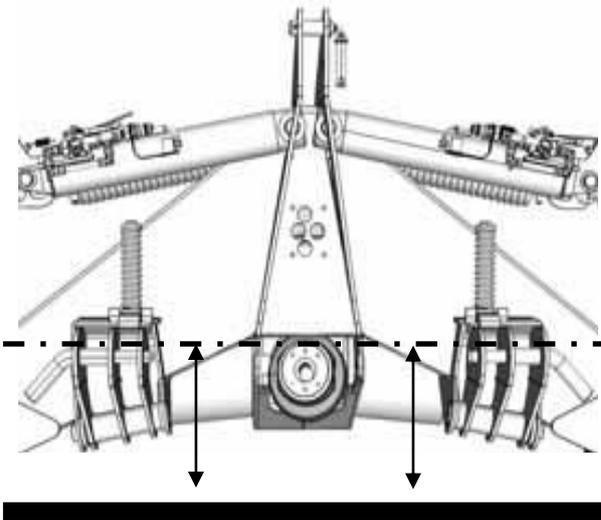
トラクターの大きさ、重さ

トラクターは機械に適切な大きさ、重量でなくてはなりません。法律に従ってください。

適切なトラクターと作業機は作業と、機能性を確保します。

誤ったサイズのトラクター、作業機を使用すると怪我、事故を引き起こします。

ヒッチの調整

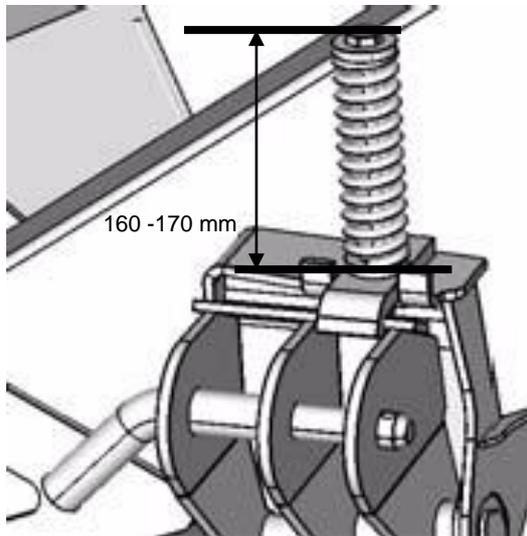


高さ. 770-800 mm

作業機の高さが適切であることは重要です。作業機の高さは次のように調整することができます。

> トラクターの油圧を操作し、図に示されている高さになるようにトラクターのヒッチを上げ下げしてください。

スプリングキャッチ



作業機が障害物に接触した時、バネは解放されます。

バネが開放される時、作業機は後方にスイングされ、トラクターの背後に入ります。作業機が障害物を越えると自動的にスプリングは戻ります。

> スプリングの長さは図のように設定してください。

トラクターと作業機は複動2系統で接続してください。

油圧の接続

トラクターとの油圧接続	動作
①複動	右側のカッティングユニットの動作
②複動	左側のカッティングユニットの動作

トラクターの油圧カプラーに接続する。

機械を動かす前に

機械の動作確認はとても重要です

初めて作業機をトラクターに取り付ける際は動作確認を行なってください。

動作確認を行うことによって、作業機だけでなく自身の安全も防ぐことができます。

安全に関する指示に従わない場合は重大な事故、怪我に繋がる恐れがあります。

> 作業機を上げてください。

> 安全に注意してPTOシャフトの接続をしてください。

> PTOを駆動させ慎重に1000回転まで上げてください。

> カッターバーが異常な振動、異音、抵抗なく動作することを確認してください。

> PTOの回転をアイドルまで下げた後、駆動を止めてください。

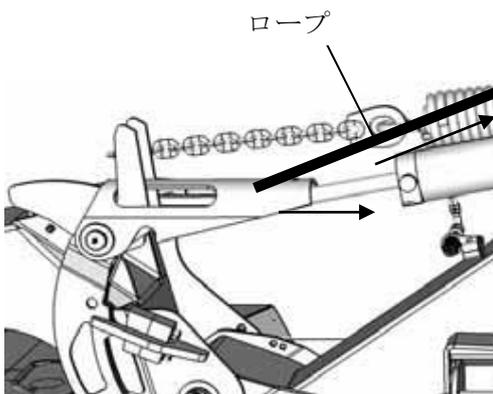
> 作業機とトラクターの油圧を接続します。

> 枕地回転時はトラクターの油圧でモアユニットの昇降を行なってください。

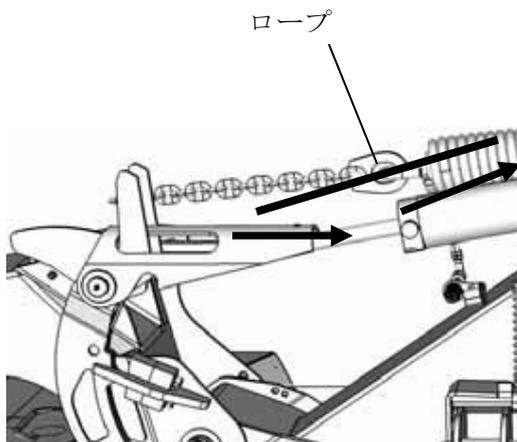
•モアユニットが旋回位置まで上がった後、安全装置により上がりすぎを防止します。

>安全装置のロープを引きながら、トラクターの油圧操作でモアユニットを移動状態にしてください。

>トラクターの油圧操作で、モアユニットを作業位置まで下げてください。



作業機の移動位置



作業機を使用する前に周囲の確認を行なってください

作業機を移動、使用する前には必ず、作業機の周囲の確認を行なってください。

確認することで周囲の怪我、事故を防ぐことにつながります。

周囲を確認しない場合は人、動物に深刻な怪我を与える原因になります。

トラクターのPTOの取り外し

トラクターのPTOを取り外す際は必ずモアユニットを作業位置まで下げてください。

PTOジョイントに角度を付け過ぎることは、機械の故障につながります。

これは、作業機のギアボックスとPTO軸に甚大な被害を引き起こす可能性があります。

作業機を輸送する際は機械の高さに注意してください

作業機の高さは法律で決められた高さを越えることは出来ません。

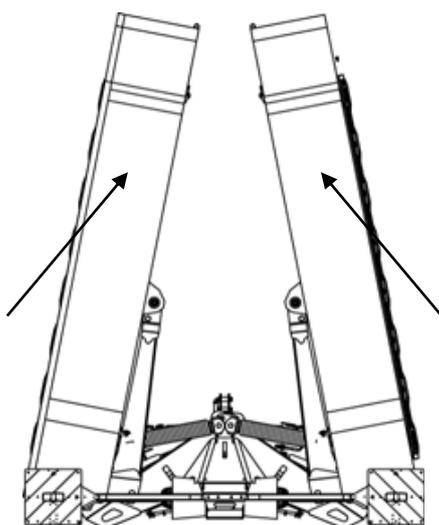
作業機が橋の下を通過する際は電気のケーブルを外しておくことが大切です。

高さが高すぎる場合はトラクター、作業機共に深刻な損傷を引き起こす可能性があります。

作業機は以下の方法で輸送位置にすることができます。

- > 作業機が動作していないことを確認し、トラクターとのPTO接続を外してください。
- > 左右のロープを引いてください。
- > トラクターの油圧を操作してモアユニットを移動位置まで上げてください。
- > 左右のロープを放してください。
- > 安全装置で左右両方の油圧シリンダーが固定されていることを確認してください。

• トラクターには輸送の衝撃吸収ダンパーを装備することが推奨されています。これは、トラクターの取扱説明書を参照してください。



以下の手順を守ってください:

- メンテナンスの項に記載されている全ての点を確認してください。

→ »特定の安全情報« p 48

→ »使用するオイルの粘度と安全
« p 48

- ナイフは磨耗していたり、逆に取り付いていたりしないことを確認してください。

→ »ナイフ« p 60

作業機は次のように動作してください。

> 周囲に人や動物、物がないことを確認してください。

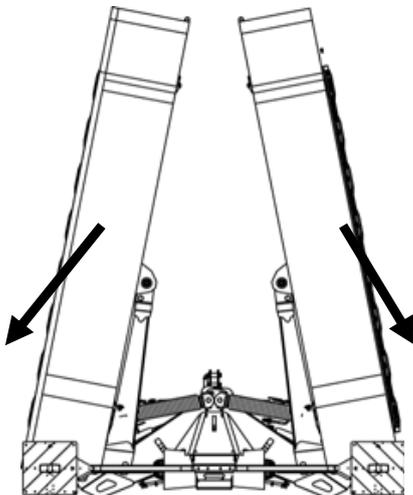
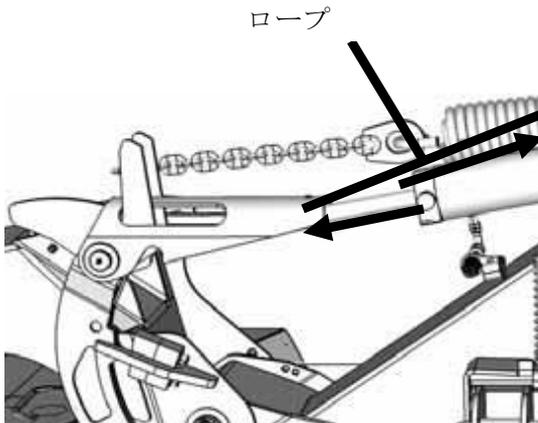
> ロープを引き、安全装置を解除してトラクターの油圧操作で作業機を作業位置まで下ろしてください。

> 作業機のすべての位置がロックされていることを確認してください。

> 慎重にトラクターとPTOジョイントを接続してください。

> 安全に注意してPTOの回転を1000回転まで上げてください。

> トラクターを前進させてください。



注意 作業機が動作しない場合:

> トラクターの前進を止めてください。

> トラクターのエンジンを止めてください。

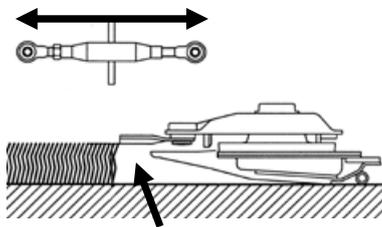
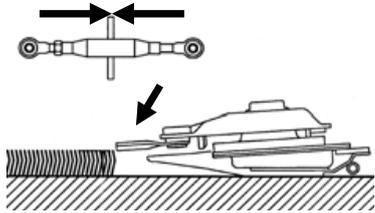
> 安全に注意してPTOシャフトを外してください。

> トラクターとの油圧接続を外してください。

注意 作業機に過度な振動、異音がする場合、直ちに動作を停止させてください。

→ »トラブルシューティング« p 98.

刈り高さ



作業機の刈り高さは次のように調整することができます。

> 地面に作業機を降ろします。

> トップリンクを調整することで刈り高さを調整することができます。

- トップリンクを短くすることで刈り高さを低くすることができます。

- トップリンクを長くすることで刈り高さを高くすることができます。

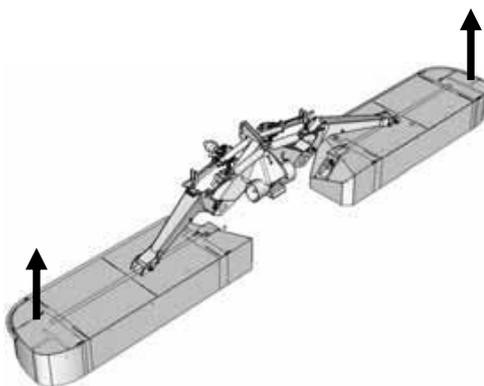
刈り高さはハイスキッドを併用することでも変えることができます。

刈り高さ	Note
20-50mm	スキッド必要なし
25-70mm	20mm のスキッド
50-100mm	40mm のスキッド
100mm or それ以上	80mm のスキッド

* 別装備

→ »オプション« p 95

モアユニットの接地圧



モアユニットの接地圧は大体50～60kgで設定してください。

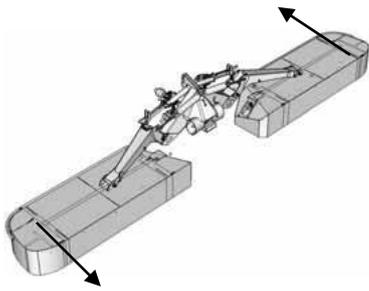
> 作業機のスuspensionが正しい高さにあることを確認してください。

→ »ヒッチの調整« p 29

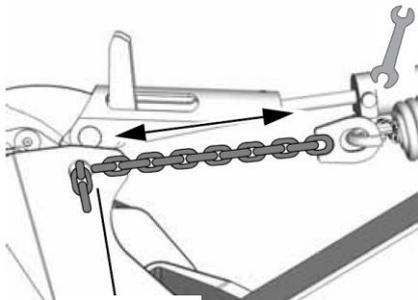
> 油圧ホースの位置が正確な位置にあるか確認してください。

> 作業機の圧が正確であるか確認してください。

>モアユニットの接地圧は大体50～60kgであることを確認してください。



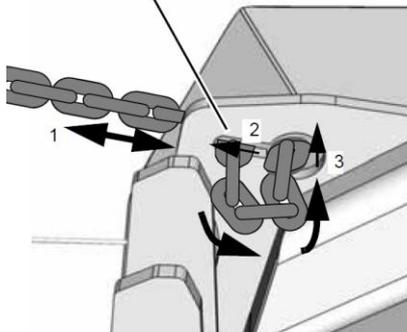
刈り高さは次のように調整することができます。
 > スプリングとチェーンの張りがなくなるまでトラクターの油圧を操作します。



> 刈り高さを合わせるようにチェーンを調整します。

- チェーンが短い場合はモアユニットの接地圧が小さくなります。
- チェーンが長い場合はモアユニットの接地圧が大きくなります。

止める



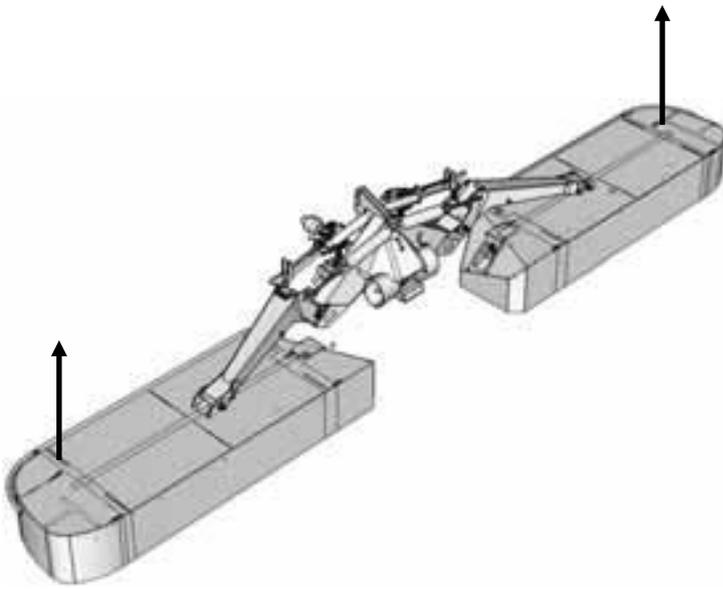
チェーンの長さは次のようにして決めることができます。

- > 穴からチェーンを外す
- > 適切なチェーンの長さを決める [1].
- > 穴にチェーンを通す [2].
- > もう一度通しチェーンを固定する [3].

作業機はチェーンで固定されます

同様に反対側の調整も行います

- > モアユニットをトラクターの油圧操作で作業位置に降ろします。
- > 油圧シリンダーが伸びきるまでトラクターの油圧を動かします。

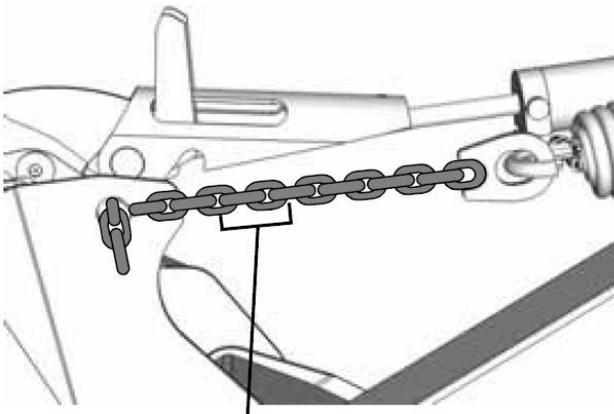


- > モアユニットの接地圧が50～60kg
になっていることを確認します。
- > すべてが設定してあることを確認
し、されていない場合は設定します。

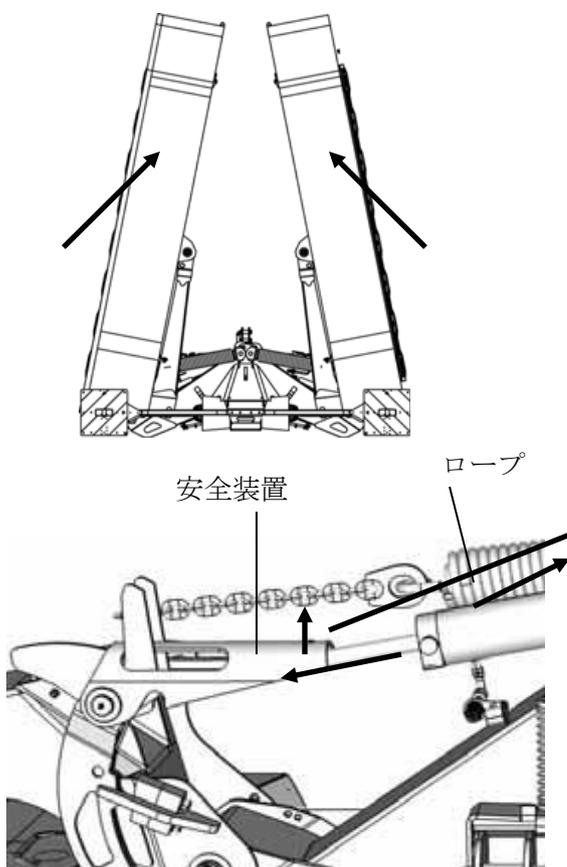
参考 モアユニットの接地圧は次
の図で示しています

型式	鎖の数
EX390	7-8

注意 図はあくまでも目安として示されてい
ます。



圃場での作業



作業機を使用する前に周囲の確認を行なってください。

作業機を使用する前には周囲の確認をしないではいけません。

周囲を確認することは人や動物、物を傷つけることを防ぎます。

周囲を確認しないことは、人や動物、物に深刻な怪我、損傷を負わせることにつながります。

作業機は次のようにして使用されます。

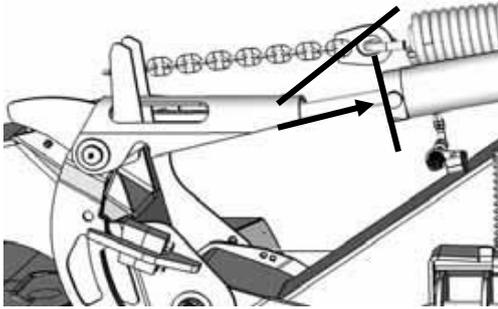
- > トラクターと油圧接続を行います。
- > 作業機を移動位置から作業位置にするために油圧操作します。
- > ロックを解除するためにロープを引き安全装置を解除します
- > トラクターの油圧を操作し、作業機を作業位置まで降ろします。
- > 左右のロープを放します。
- > トラクターの油圧をフローティングポジションに設定します。

> 作業機のガードが正しく付いていることを確認します。

> トラクターとPTOを接続します。

> 慎重にPTO回転を1000回転まで上げます。

> トラクターを作業したい速度にして刈り始めます。



>圃場の端に着いたらトラクター油圧を操作して、旋回ポジションにします。

>シリンダー安全装置がシリンダージャケットに当たるまでトラクター油圧を操作します。

> 枕地旋回後は再度トラクター油圧操作でモアユニットを作業位置に降ろします。

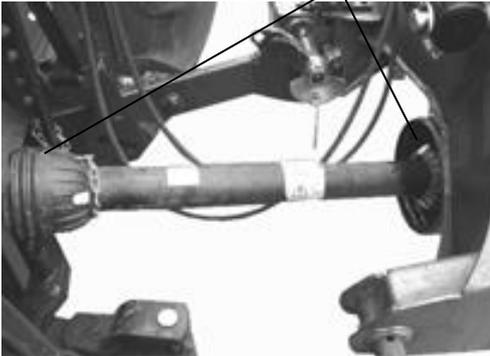
メンテナンスの間隔

	10時間使用後	毎日	40時間毎	80時間毎	200時間使用もしくは1年毎	毎月	毎シーズン	必要に応じて	オイル交換	潤滑	確認	交換	ページ
基本的な確認場所	油圧ホース4年毎											○	16
	ベアリング/ユニバーサルジョイント			○									52
	カッティングディスク	○									○		62
			○										62
												○	87
	ユニバーサルジョイント						○				○		68
									○			○	89
	ナイフ	○									○		60
			○								○		60
									○			○	85
	ストーンガード/カウンターナイフ			○							○		71
									○			○	92
		○								○		64	
								○		○		66	
駆動	PTOシャフト		○							○			52
	PTOシャフト、カッティングユニット			○						○			52
トランスミッション	トラクターのメインギア	○									○		57
					○						○		57
									○				80
	カッターバーのベベルギア	○									○		59
					○						○		59
									○				83
	カッターバー	○							○				75
		○								○		56	
					○				○			75	
その他								○		○			53

潤滑

毎日

PTOシャフト



> グリスニップルからグリスを注入してください。

> 数回注入を行なってください。

→ »メンテナンスの間隔« p 50

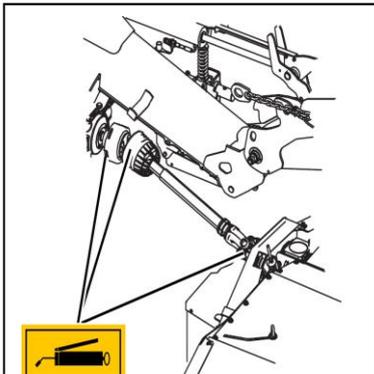
→ »潤滑油« p 104

>グリスニップルからグリスを注入してください。

>数回注入を行なってください。

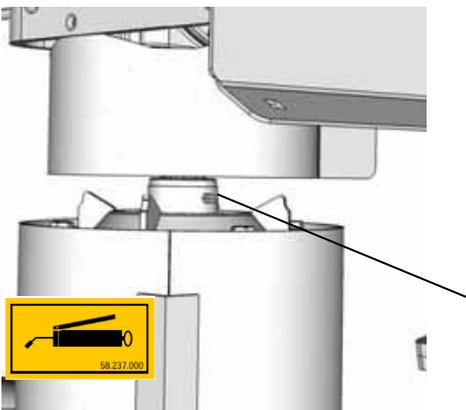
→ »メンテナンスの間隔« p 50

→ »潤滑油« p 104



40時間毎

カッティングユニット



>グリスニップルからグリスを注入してください。

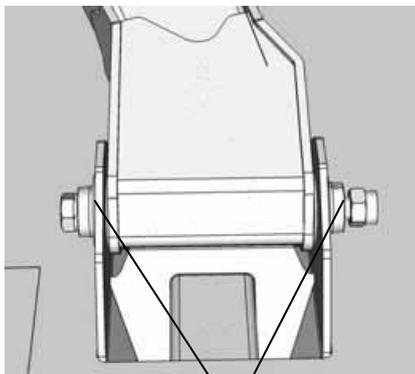
>数回注入を行なってください。

→ »メンテナンスの間隔« p 50

→ »潤滑油« p 104

毎シーズン

機械的な接続

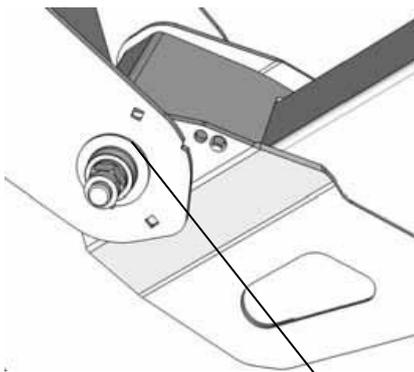


>グリスニップルからグリスを注入してください。

>数回注入を行なってください。

→ »メンテナンスの間隔« p 50

→ »潤滑油« p 104

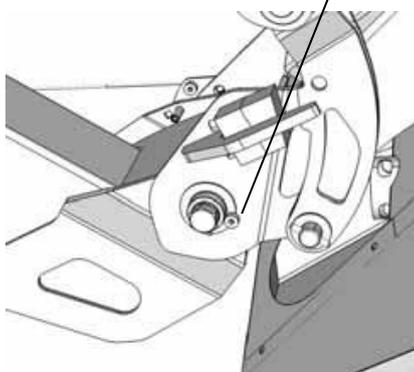


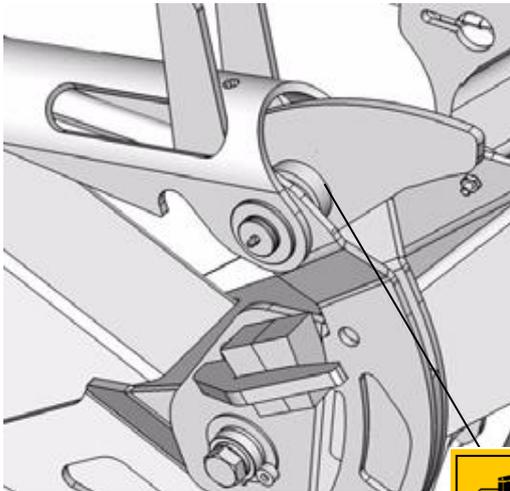
>グリスニップルからグリスを注入してください。

>数回注入を行なってください。

→ »メンテナンスの間隔« p 50

→ »潤滑油« p 104



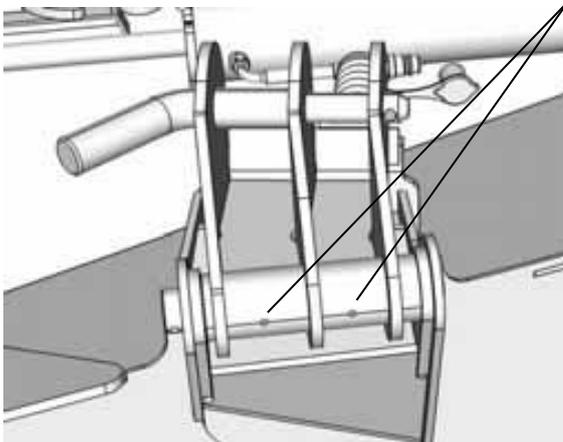


>グリスニップルからグリスを注入してください。

>数回注入を行なってください。

→ »メンテナンスの間隔« p 50

→ »潤滑油« p 104



>グリスニップルからグリスを注入してください。

>数回注入を行なってください。

→ »メンテナンスの間隔« p 50

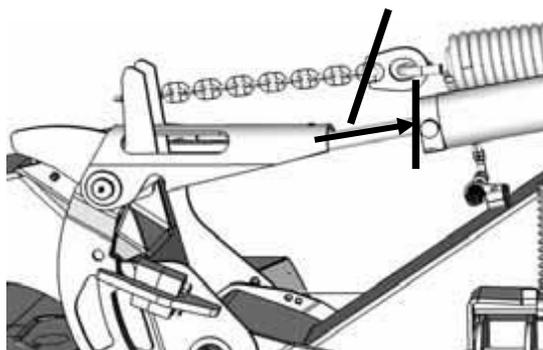
→ »潤滑油« p 104

オイル交換

10時間使用毎

以降, 200時間使用毎

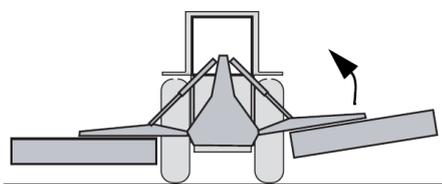
もしくは1年毎



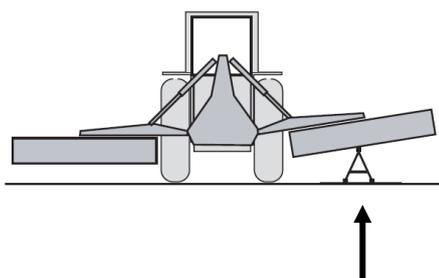
右側カッティングユニット

カッターバーのオイルは次のように交換することができます。

> トラクターの油圧を動作し、作業機の先端を上げます。

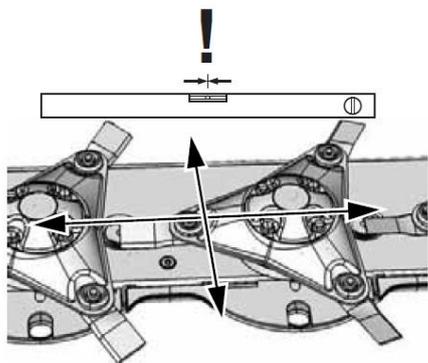
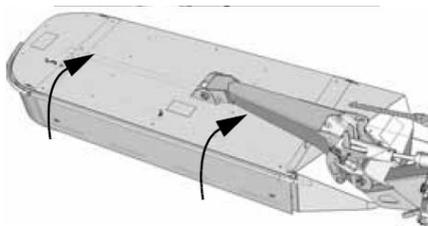
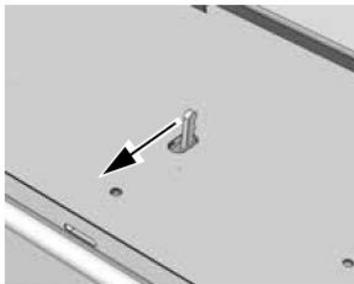
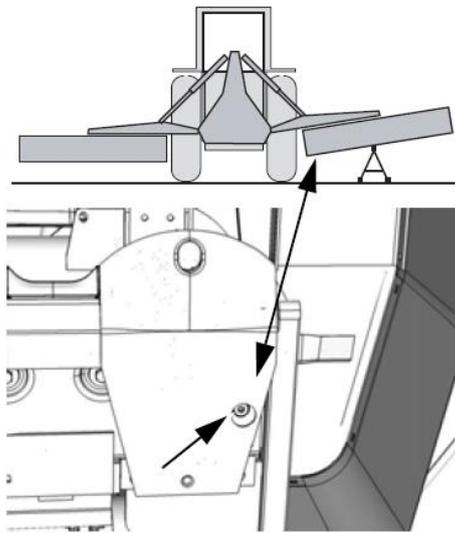


> カッターバーの下部に丈夫なサポートを設置します。



注意 オイル交換を行う前に作業機を頑丈なサポートで固定することが大切です。

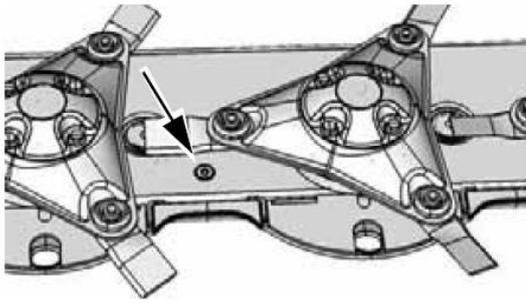
> トラクターの油圧を切り、トラクターを停止させます。



- > カッターバーのオイルプラグを外します。
- > 適当な容器にオイルを流し込みます。
- > 約10～15分で油をすべてカッターバーから出すことができます。
- > カッターバーにオイルプラグを取り付けます。
- > トラクターのエンジンを始動します
- > トラクターのリフトアームを動かし、サポートを自由にします。
- > サポートを取り外します。
- > トラクターのリフトアームを下げ、モアユニットを作業位置にします。
- > トラクターのエンジンを停止させます。

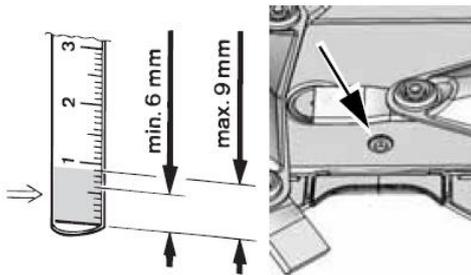
- > ロックを解除してガードを開きます

- > カッターバーの方向、向きを調整します。トップリンクの調整によってカッターバーの位置を調整することができます。

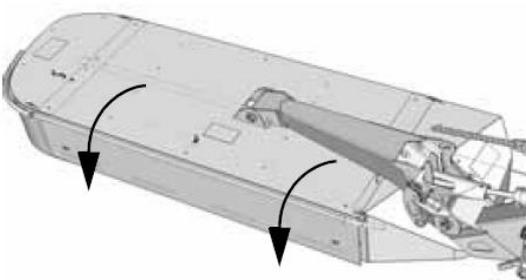


> カッターバーからオイルプラグを外します。

> 新しいオイルをオイルレベルまで来るように入れます。

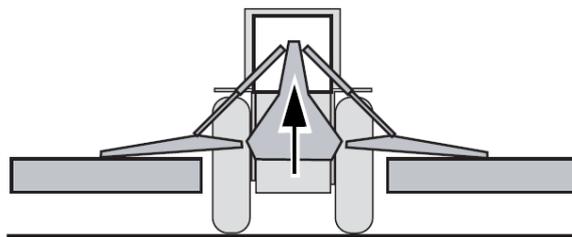


型式	リットル(L)
EX390	約 4.1*



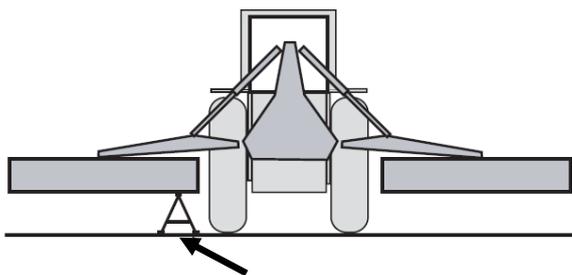
- * カuttingユニットごと
- 潤滑油 « p 104
- »メンテナンス間隔« p 50
- > オイルプラグを閉めます
- > ロック解除して、作業機のガードを閉じます。

左側Cuttingユニット

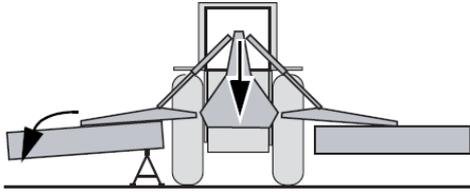


> トラクターのリフトアームを動かすことで作業機を高くまで上げることができます。

> カッターバーの右側の下にサポートを設置します

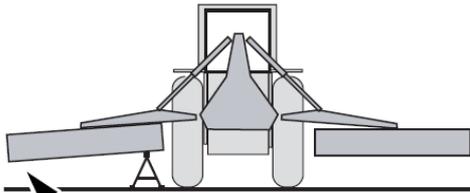


注意 オイル交換を行う前に作業機を頑丈なサポートで固定することが大切です。



> トラクターのリフトアームを下げ、左側のカッティングユニットの右端をわずかに下げます。

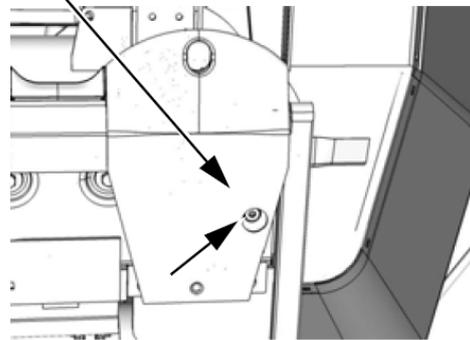
> トラクターのエンジンを切ります。



> ドレンプラグを外します。

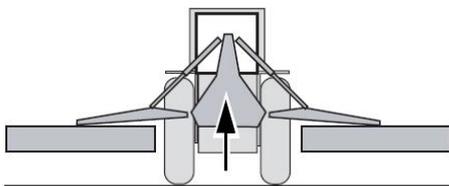
> 適当な容器にオイルを流し込みます。

> 約10～15分で油をすべてカッターバーから出すことができます。



>カッターバーにオイルプラグを取り付けます。

> トラクターのエンジンを始動します

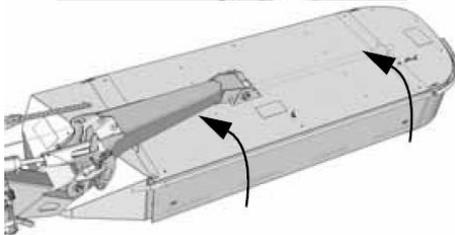
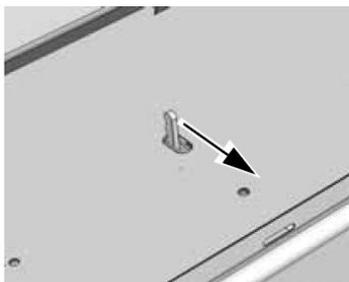


> トラクターのリフトアームを動かし、サポートを自由にします。

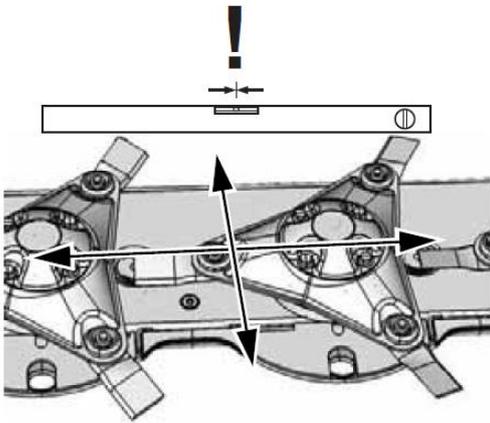
> サポートを取り外します。

> トラクターのリフトアームを下げ、作業機を作業位置にします。

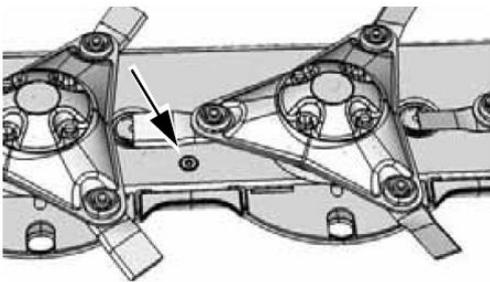
> トラクターのエンジンを停止させます。



> ロックを解除して、作業機のガードを開きます

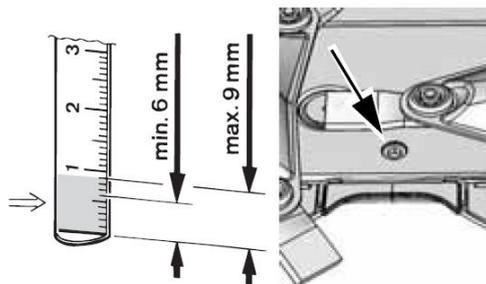


- > カッターバーの方向、向きを調整します。トップリンクの調整によってカッターバーの位置を調整することができます。
- > カッターバーからオイルプラグを外します。

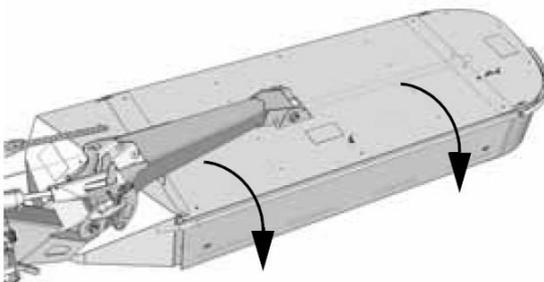


- > 新しいオイルをオイルレベルまで来るように入れます。

型式	リットル(L)
EX390	約 4.1



- * カuttingユニットごと
- »潤滑油« p 104
- »メンテナンス間隔« p 50
- > オイルプラグを閉めます



- > ロックを解除してガードを閉じます。

ギアボックス

オイル交換を行う際には注意をしてください

オイル交換を行うときは手袋、保護クリームを付けてください。

保護することは手の損傷を防ぐことにつながります。

オイルを直接触ることは皮膚を損傷することにつながります。

正しいオイルを使用する

常に作業機に合ったオイルを使用してください。

正しいオイルを使用することで作業機を長い期間使用することができます。

間違ったオイルを使用することは、作業機を故障させる恐れがあります。

正確なオイルレベルの維持

オイルレベルの最小、最大を越えるようなオイル量ではいけません。

正しいオイル量は作業機を長く使用することにつながります。

誤ったオイル量で作業機を使用することは、深刻な損傷、オーバーヒートを引き起こす恐れがあります。

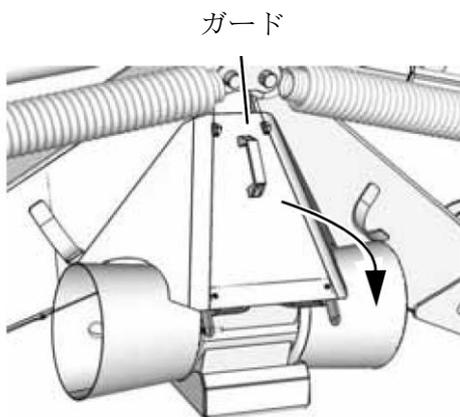
オイルについて

オイル量のチェック、交換を行うときは、作業機が安定した水平な面に作業を行う開いた形で行う必要があります。

メインギアトラクター オイル交換

毎シーズン

- オイルの交換



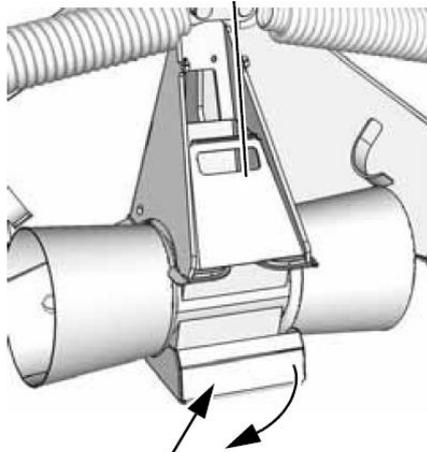
リットル (L)
2.5

→ »メンテナンスの間隔« p 50

オイルは次のように交換します

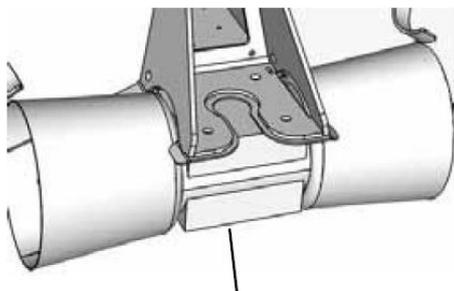
> ガードを開いてください

工具箱



サポートレッグ

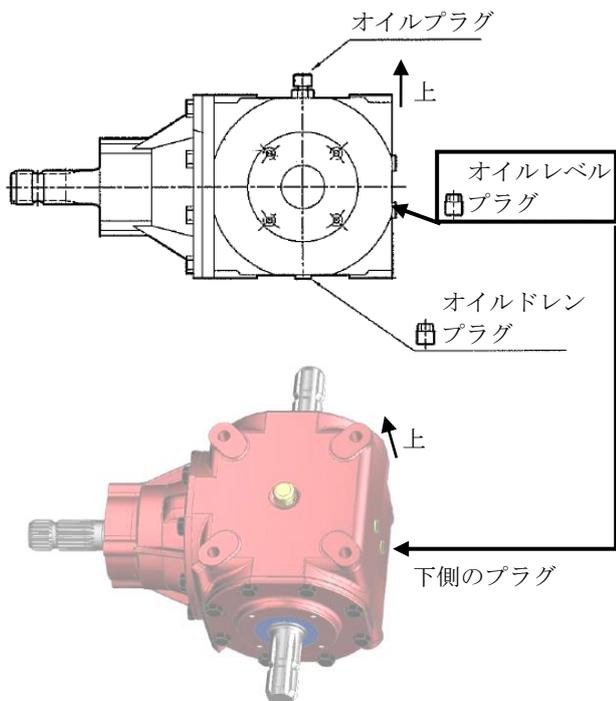
- > 工具箱を外してください
- > サポートレッグを外します。



オイルプラグ

- > オイルプラグを外す際は特殊な工具を使用します。
- > オイルを適切な容器に流し込みます。
- > ギアボックスのオイルが抜けきるまでに10～15分かかります。
- > オイルプラグを取り付けます。

オイルゲージ



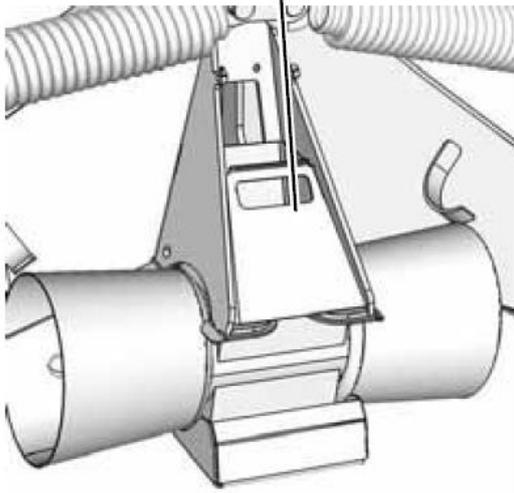
- > サポートレッグを取り付けます
- > オイルプラグを取り外します。
- > オイルレベルプラグからオイルがあふれるまで新しいオイルを入れます。

→ »潤滑油« p 104

オイルを補充する際は次のような手順で行います。

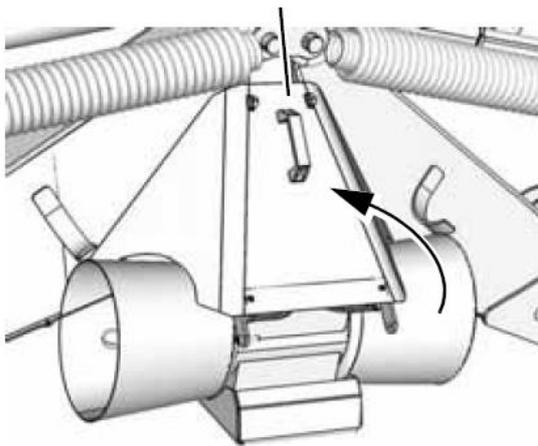
- > 適切なオイル量になったらオイルプラグを閉めます。

工具箱



> 工具箱を取り付けます

ガード



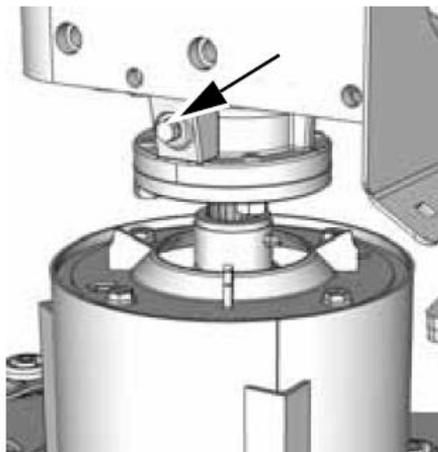
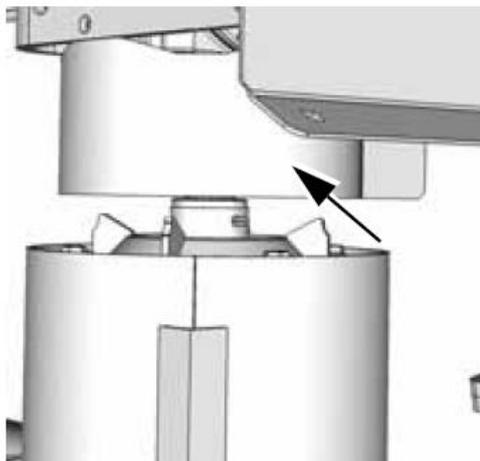
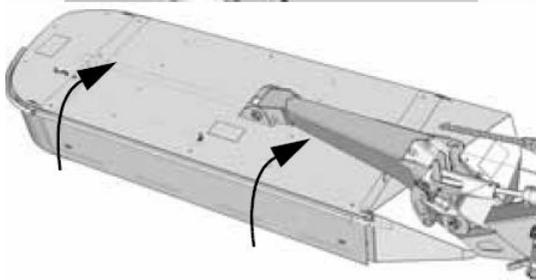
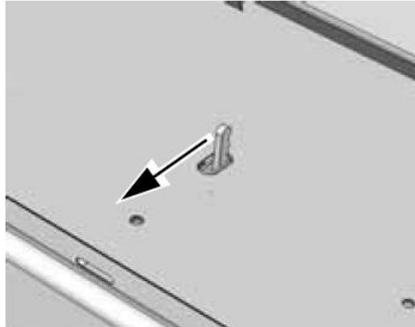
> ガードを閉じます

ベベルギア - カッターバー

毎シーズン

オイル交換時のオイル量

リットル (L)
1.0



→ »メンテナンスの間隔« p 50

オイルは次のように交換します

> ロックを解除して作業機のガードを外します。

> 専用の工具を使用してカッターバーの周りのガードを取り外します。

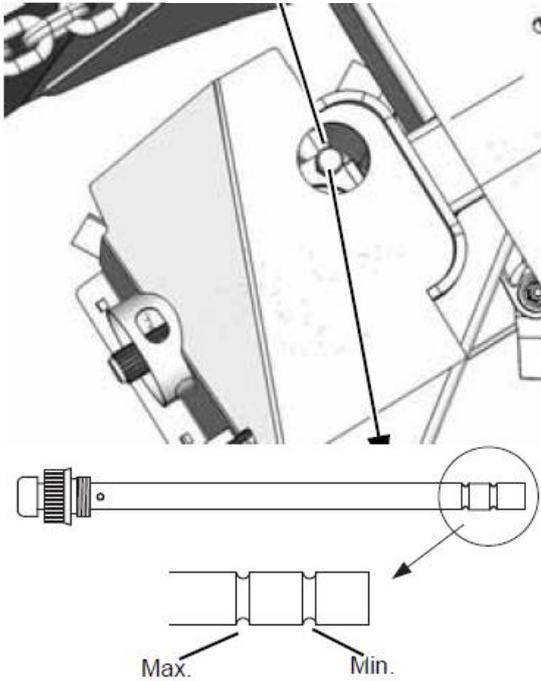
> 適切な工具を使用してオイルプラグを取り外します。

> 適当な容器にオイルを流し込みます。

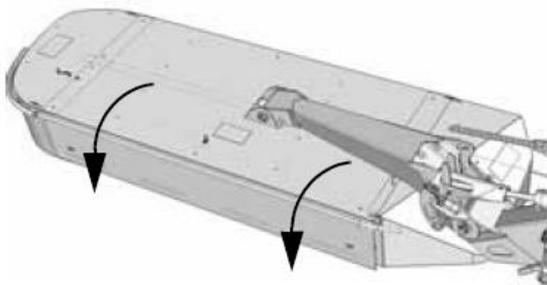
> オイルが抜けきるまでにおおよそ10～15分程度かかります。

> オイルプラグを取り付けます。

オイルゲージ



- > オイルゲージを外します。
 - > オイルゲージが取り付けられていた穴からオイルを流し込みます。
 - > トランスミッションのオイルレベルに合うか確認するためにオイルプラグを取り付けます。
 - > オイルレベルがオイルプラグの最大にあることを確認してください。
 - > 正しいオイルレベルになるまで繰り返します。
 - > オイルゲージを閉めます。
- »潤滑油« p 104



- > ロックを解除してガードを元に戻します。

ナイフ

カッティングユニットの安全性に関する保守作業

カッターバーを交換する際は必ずトラクターのエンジンが停止していることを確認してください。

トラクターのエンジンが停止していることは、急に作業機が動作することを防ぐことにつながります。

トラクターと作業機が適切な方法でPTOで接続されていない場合、手足の重大な怪我につながる恐れがあります。

カッティングユニットの作業を行う場合:

- 必ずトラクターのエンジンを切ります。
- 必ずトラクターのキーを抜きます。
- 必ずPTOシャフトを取り外しておきます。
- 必ずトラクターとの油圧接続を外します。
- 必ずトラクターのハンドブレーキをかけてください。

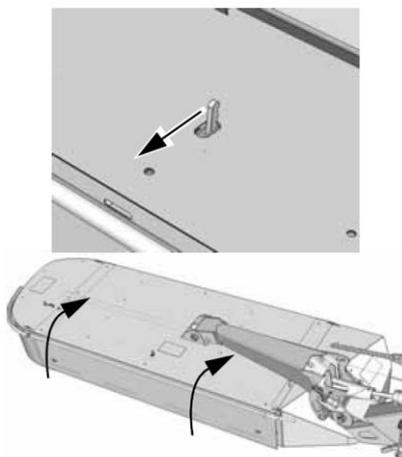
定期的に作業機のナイフを確認してください

作業機のナイフは定期的に点検する必要があります。

摩耗または損傷したナイフはアンバランスな回転を生み出します。

アンバランスな回転は異常な振動を引き起こし、作業機を損傷させる恐れがあります。

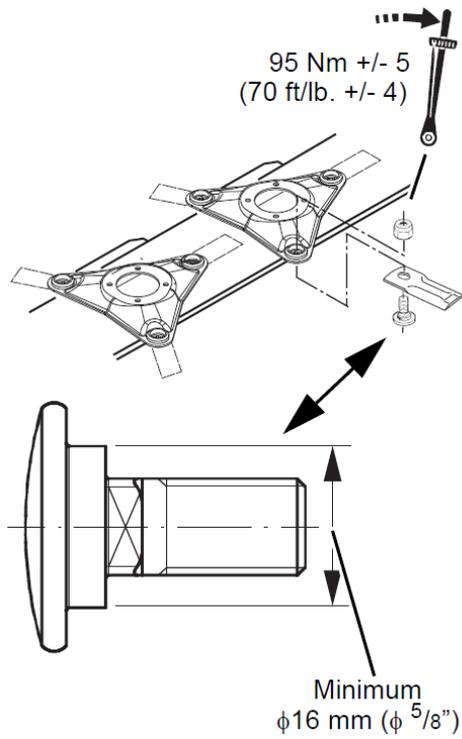
必要に応じて



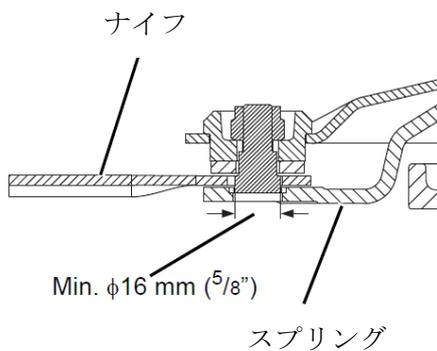
ナイフは次のように交換することができます。

→ »メンテナンスの間隔« p 50

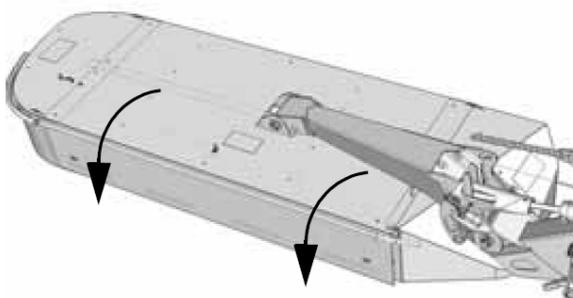
> ロックを解除してカッターバーのガードを外します



- > 破損したナイフが図の位置に来るまで手でディスクを回転させます。
 - > 適切な工具を使用してボルトを取り外します。
 - > ナイフの交換をします
 - > ボルトが摩耗していないか点検を行います。
 - ボルトが損傷、摩耗している場合は必ず交換を行う必要があります。
- 注意** ボルトの最小直径はφ 16 mm (φ 5/8) 以上でなくてはなりません。
- > ナイフとボルトを取り付けます。
 - > 適切なトルクでボルトを締めてください。



注意 作業機にナイフのクイックリリースが装着されている場合でも、上記の条件が適応できます。



- > ロックを解除してガードを閉じてください。

カッティングディスク

カッティングユニットの安全性に関する保守作業

カッティングユニットを交換する際は必ずトラクターのエンジンが停止していることを確認してください。

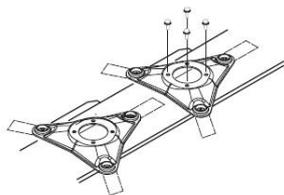
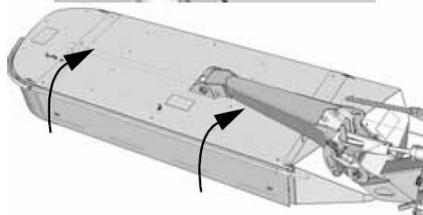
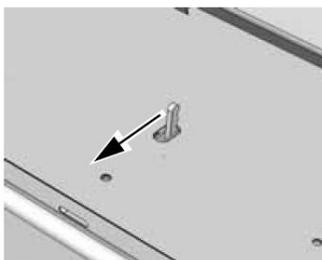
トラクターのエンジンが停止していることは、急に作業機が動作することを防ぐことにつながります。

トラクターと作業機が適切な方法でPTOが接続されていない場合、手足の重大な怪我につながる恐れがあります。

カッティングユニットの作業を行う場合:

- 必ずトラクターのエンジンを切ります。
- 必ずトラクターのキーを抜きます。
- 必ずPTOシャフトを取り外しておきます。
- 必ずトラクターとの油圧接続を外します。
- 必ずトラクターのハンドブレーキをかけてください。

必要に応じて

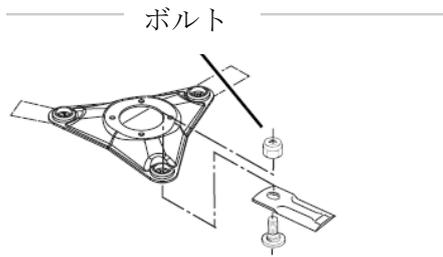


カッティングディスクは次のように交換することができます。

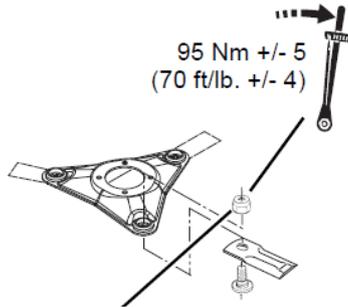
→ »メンテナンスの間隔« p 50

> ロックを解除してカッターバーのガードを外します。

> カッティングディスクを取り外す際は専用の工具を用いて取り外してください。

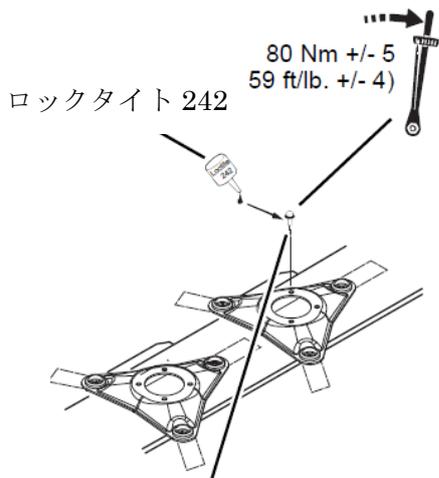


> カuttingディスクからナイフとボルトを取り外します。



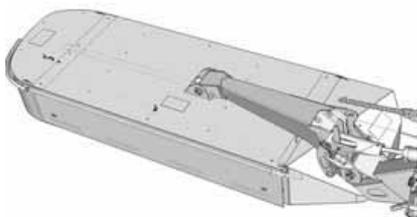
> 新しいナイフとボルトをCuttingディスクに取り付けます。
> 適切なトルクでボルトを締めてください。

ボルト



> すべてのボルトにロックタイト242または類似の製品を使用してください。
> カッターバーにCuttingディスクを取り付けます。
>適切なトルクでボルトを締めてください。

ボルト



> ロックを解除して作業機のガードを取り付けます。

ユニバーサルジョイント

カッティングユニットの安全性に関する保守作業

カッティングユニットを交換する際は必ずトラクターのエンジンが停止していることを確認してください。

トラクターのエンジンが停止していることは、急に作業機が動作することを防ぐことにつながります。

トラクターと作業機が適切な方法でPTOで接続されていない場合、手足の重大な怪我につながる恐れがあります。

カッティングユニットの作業を行う場合:

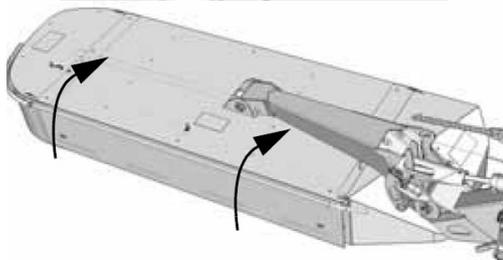
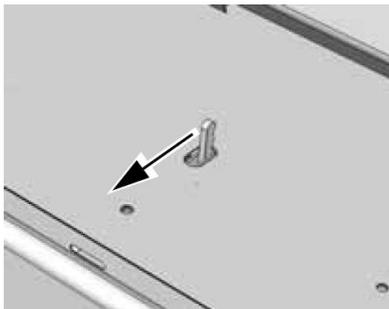
- 必ずトラクターのエンジンを切ります。
- 必ずトラクターのキーを抜きます。
- 必ずPTOシャフトを取り外しておきます。
- 必ずトラクターとの油圧接続を外します。
- 必ずトラクターのハンドブレーキをかけてください。

必要に応じて

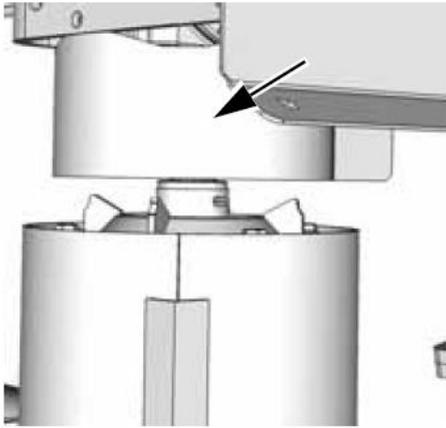
ユニバーサルジョイントは次のように交換することができます。

→ »メンテナンスの間隔« p 50

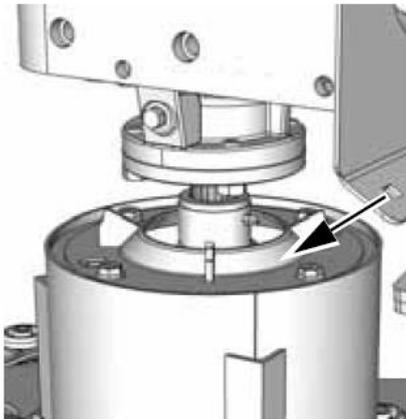
- > ロックを引き、放します。
- > カッターバーのガードを外します。



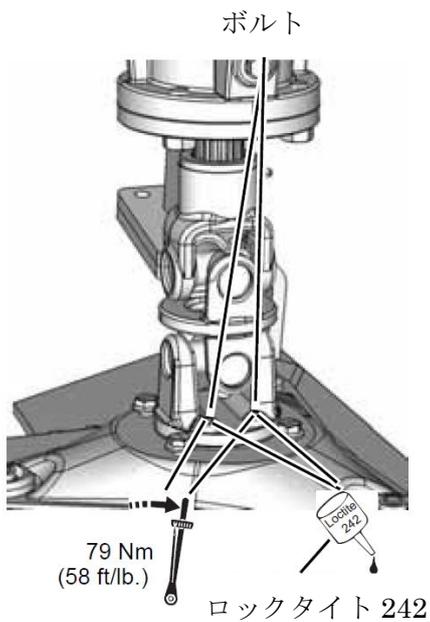
+



> 適切な工具を使用してPTO軸とカッターバー周辺のガードを取り外します。



> 円錐の上部カバーを取り外します。

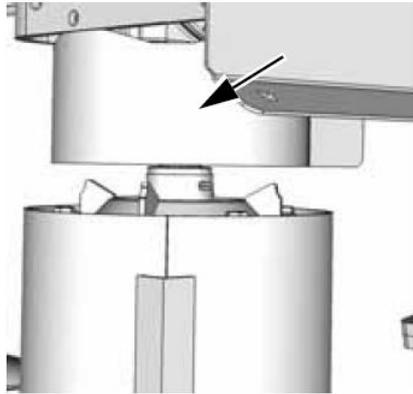


> ボルトを外し、PTOシャフトを交換します。

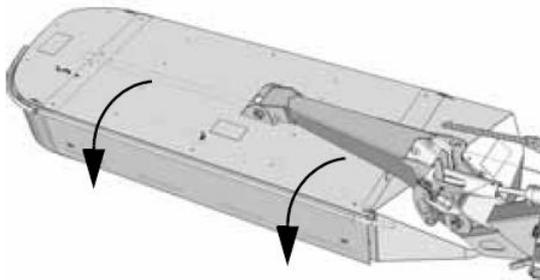
> ボルトを清掃してください

> すべてのボルトにロックタイト242または類似の製品を使用してください。

> ボルトを決められた適切なトルクで締めてください。



>適切な工具を使用してPTO軸とカッター周辺のガードを取り付けます。



> ロックを引き、放します。
> 作業機のガードを下ろしてください。

ストーンガードと カウンターナイフ

カッティングユニットの安全性に関する保守作業

カッティングユニットを交換する際は必ずトラクターのエンジンが停止していることを確認してください。

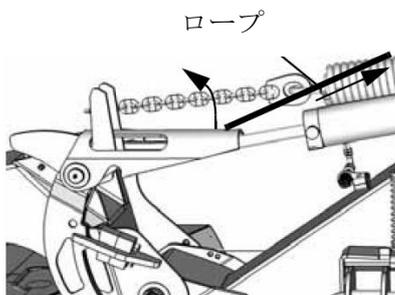
トラクターのエンジンが停止していることは、急に作業機が動作することを防ぐことにつながります。

トラクターと作業機が適切な方法でPTOが接続されていない場合、手足の重大な怪我につながる恐れがあります。

カッティングユニットの作業を行う場合:

- 必ずトラクターのエンジンを切ります。
- 必ずトラクターのキーを抜きます。
- 必ずPTOシャフトを取り外しておきます。
- 必ずトラクターとの油圧接続を外します。
- 必ずトラクターのハンドブレーキをかけてください。

必要に応じて



→ »メンテナンスの間隔« p 50

ストーンガードとカウンターナイフは次のように交換することができます。

参考 作業機とトラクターを接続する必要があります。

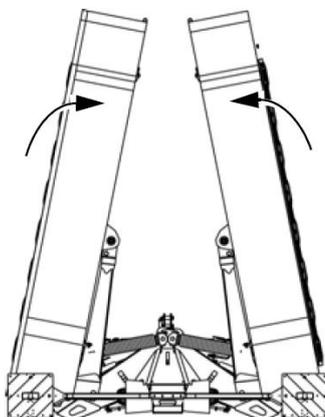
> 左右のロープを引きます。

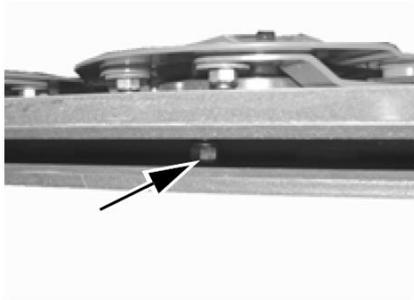
> 作業機を移動位置にするためにトラクターの油圧を動作させます。

> 作業機を動かないように固定します。

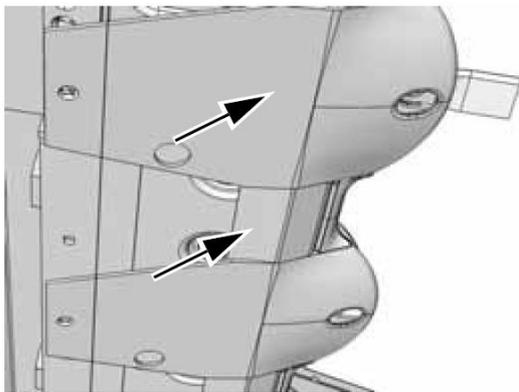
> 十分注意して作業機を下まで下げます。

> トラクターのエンジンを停止してください。

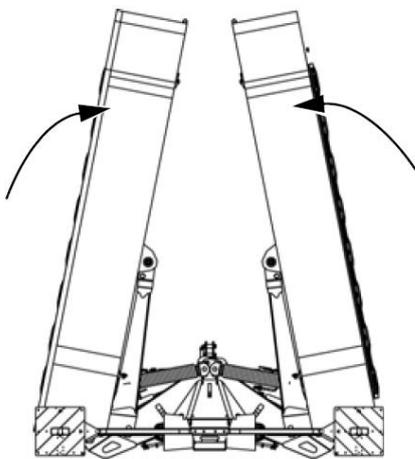




> 磨耗したストーンガードとカウンターナイフを取り外します。



> 新しいストーンガードとカウンターナイフを取り付けます。

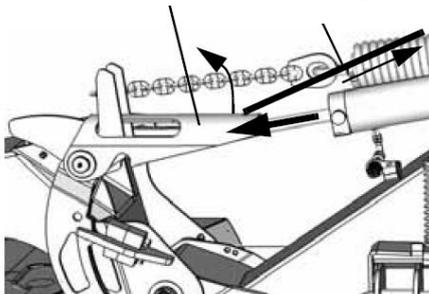


注意 ストーンガードと多くの摩耗で目に見えるような穴の開いたカウンターナイフは直ちに取替える必要があります。

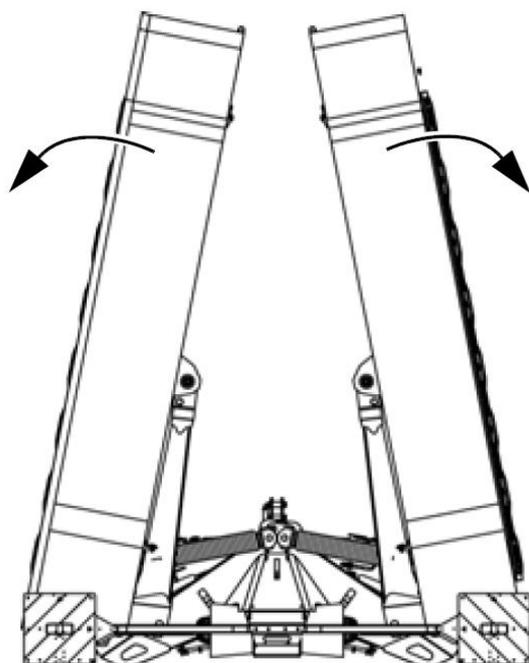
- > トラクターのエンジンを始動させます。
- > トラクターのリフトアームを上げ、サポートレッグがフリーになるようにします。
- > サポートレッグを取り外します。
- > トラクターと作業機を油圧接続します。
- > トラクターの油圧を動作させ、作業機を輸送位置まで上げてください。その際に安全装置を外します。

安全装置

ロープ



> 安全装置のロックを外すには左右両方のロープを引いてください。



> トラクターの油圧を動作させ、カッターユニットを作業位置まで下げてください。